

神経内科

一流のneurologistを育てる

当教室では世界に通じる一流のneurologistを育てることを第一の理念としています。それぞれの医師を優れた臨床家、研究者、教育者とすることで第一級レベルの教室に発展できるものと考えています。臨床研修は医師としての基礎をつくる重要な時期であり、内科系医師・神経系に携わる医師すべては、基本的な神経内科的診察・思考方式を身につける必要があると考え、教育を実践しています。

〈研修目標〉

神経内科を1~2ヶ月行うことによる目標・ゴールは以下のとおりです。①基本的な神経診察方法を身につけ、正しい神経所見が得られる。②神経診察の結果を正しく解釈し、病変部位を確定し、鑑別診断を列挙できる。③代表的な神経疾患に関する基本的知識を身につける。④髄液検査を単独で行うことができ、検査結果を解釈できる。



先輩の声

平成26年卒 松尾 欣哉

正しい神経診察や論理的な考え方を会得するには、良い師の指導の元で生身の患者さんから学ぶしか道はありません。大切な(でも短い!)初期研修の期間に、患者さんに直に触れて、経験していない人には決して真似のできない思考力と技術を身につけてみませんか?気兼ねなくなんでも訊ける先輩たちと、神経のおもしろさを一緒に学びましょう!

1週間のスケジュール

Mon	病理カンファ 電気生理カンファ
Tue	病棟カンファ、回診 症例検討会 病理カンファ
Wed	病棟業務
Thu	病棟業務
Fri	病棟業務

当直は指導医と共に月3回行います。希望者は外来研修を受けることも可能です。

呼吸器・感染症内科

診療の基本を身につけよう

当科は、平成27年7月に開設されました。

私たちは肺炎・結核などの感染性疾患、喘息・COPDなどの閉塞性肺疾患、間質性肺炎などのびまん性肺疾患、さらには肺癌をはじめとする腫瘍性疾患肺循環、呼吸不全など広範で多岐にわたる疾患を診療します。

〈研修目標〉

呼吸器領域における高度な医療を提供する礎となる臨床研究や基礎研究を推進します。

専門的かつ総合的な診療の指導を行います。集学的治療を行うために関連する診療科と合同カンファレンスを行い、最新で最適切な医療を提供します。診断や治療の知識を統合し「体系的に考える力を有する医師」すなわち「総合的な診療能力を有する呼吸器内科医」の育成を目指します。



先輩の声

平成26年卒 大畑 秀一郎

当科では腫瘍、感染症、アレルギーなど多彩な疾患を経験できます。山口県内には呼吸器を専門にしている医師の数は少なく、呼吸器の疾患で苦しんでいる患者さんは沢山存在し非常にニーズの高い領域と自負しております。志望の科が何科であったとしても呼吸器内科の知識は無駄にはなりません。我々と共に呼吸器疾患を学びませんか?

1週間のスケジュール

Mon	抄読会 外来補助 気管支鏡検査
Tue	病棟診療 教授回診 新患紹介
Wed	病棟診療 気管支鏡検査、医局会 胸部カンファレンス
Thu	病棟診療
Fri	外来補助 病棟診療 気管支鏡カンファレンス

当直は指導医と共に月3回行います。土日の病棟業務もあり得ます。

精神科神経科 (精神科神経科・心療内科)

オープン、クリーン、フレッシュな精神科へ

オープン=科学性を追求し、他科やコメディカルとの連携を密に取り合いながら、開かれた精神科医療を目指します。クリーン=医師の人間性そのものを診断・治療の根幹と位置づけ、まっすぐ真摯に診療に取り組みます。フレッシュ=最先端医療を目指す専門医から、地域を元気づける一般精神科医療まで、若い力を育てる研修です。

〈研修目標〉

統合失調症、気分障害、せん妄、認知症、神経症など、幅広い分野に対する基本的な診断、治療技術の習得を目指すとともに、児童精神科医療、アルコール依存などの専門領域への理解を深めます。患者・家族との対話術、生活歴や家族背景などを含めた精神科的アプローチの基本を身につけます。リエゾン診療で他科入院患者さんの様々な心理的問題への介入方法を学びます。



先輩の声

平成24年卒 萩原 康輔

外来予診やリエゾンを通じ、軽症~重症の様々な精神疾患への初期対応を学ぶことができます。県内唯一、麻酔科と連携した電気けいれん療法施設で、クロザピン療法(難治統合失調症の治療)等の高度医療も行っています。身体合併症に伴う精神疾患、摂食障害など、心身両面のケアが必要なケースも学ぶことができます。

1週間のスケジュール

Mon	電気けいれん療法 小グループカンファ リエゾンカンファ、論文抄読会
Tue	全体カンファ 教授回診 リエゾン回診
Wed	学外研修
Thu	分子生物学研究カンファ
Fri	電気けいれん療法 画像研究カンファ

当直は指導医と共に月3回行います。外来・病棟業務は毎日行います。